

# 問 観光産業の具体的な施策は

# 答 「白馬ブランド」を世界に発信



田中榮一議員

【村長公約について】

観光振興施策は。

**問**

**村長** 観光局と連携し積極的にイベントの誘致に努め、白馬全体のイメージを確立し、「白馬ブランド」を世界に発信していきたいと考えています。

**問**

**村長** インバウンドの取り組みは。外国からのお客様の疑問や苦情など、受け入れ対応を助けるシステムを考え、白馬村ならではの「おもてなし」に努めていきたいと考えています。

**問**

健康福祉分野については。

**村長**

生まれた場所で育ち、健康で暮らしていくのが最も幸せな人生であると考えています。重点施策として展開したいと考えています。

**問**

行政組織と、住民の行政参加については。

**村長**

私たちが住むこの村がどのようなかという住民の「村づくり」のブランドデザインが必要であり、そのために担当する企画財政政策関係の組織が必要と考えます。住民参加については、役場から出向いていく方式を積極的に実施したいと思っています。

【スノーハープ利活用について】

**問**

昨年ナショナルトレーニングセンターに指定され、付加価値も高まりスポーツ合宿などの施設としてさらに期待されるが、今後の利活用は。

**村長**

昨年メイン会場の排水対策工事を行い、以前に比

べて排水状況が格段に改善されました。庁内や有識者による利活用検討委員会からの答申をいただいていますので、実施計画、財政状況等を見極めながら進めてまいります。

**問**

【前任者からの引き継ぎ事項について】  
前任者から未解決問題としての引き継ぎ事項内容と対応策は。

**村長**

内容は、村税関係では、「大口滞納者の処理については、金融機関の権利設定がされているため効果的な滞納処分ができない状況にある。滞納整理を進めていく手法として、破産法による破産申し立ての研究・検討と、徴収不能と判断する事案については、執行停止処分を行うことも必要と考える」。白馬高校の関係は、「魅力づくり検討委員会や、育てる懇話会を開催し、2クラス堅持と、寮の整備、並びに全国募集を念頭に要望を重ねてきた。今後支援策等が活発化になり、対応でき



塩の道収穫祭

る事務局の体制整備を早急に考えたい。

下水道受益者負担金関係は、

「外部評価・検証の結果次第では、小手先の運用見直しではなく規則・条例の見直しが必要である。排水区域の見直し、猶予

地の更新等、現実的に公平が図られるように業務を進める」でありました。

いずれも十分検討し、事業を進めてまいりたいと思います。